

情 報 公 開 文 書

研究の名称	有棘細胞がんの神経浸潤に関する病理組織学的特性の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院皮膚科・助教・松井悠
研究の概要	<p>【研究対象者】 2006年1月1日から2024年12月31日までの間に富山大学附属病院皮膚科を受診し、臨床、病理学的に有棘細胞がんの診断に至った患者。</p> <p>【研究の目的・意義】 有棘細胞がんは本邦で第2位の罹患率を示すケラチノサイト由来の皮膚悪性腫瘍であり、高齢者の顔面などの露光部に好発します。進行期では固有神経浸潤により強い疼痛や感覚・運動障害を生じ、患者のQOL・ADLを著しく低下させます。 本研究では、神経浸潤に関連する病理学的特徴を詳細に解析するとともに、神経細胞との相互作用を担う候補分子として注目されるPTPRD（受容体型チロシン脱リン酸化酵素δ）の発現を免疫組織学的に評価し、神経浸潤のメカニズムを探索します。これにより、神経浸潤を制御する新たな治療戦略や予後層別化への応用が期待されます。</p> <p>【研究の方法】 有棘細胞がんと診断された症例について、診断時に取得された既存の病理組織検体（パラフィン包埋ブロック）を用いて免疫組織化学染色（IHC）を行い、PTPRD発現をH-scoreで定量評価します。 神経浸潤（perineural invasion; PNI）の有無やその他の組織学的所見（腫瘍径、分化度、血管・リンパ管侵襲など）は既存の病理レポートを参照して確認します。 また、電子カルテから年齢、性別、発生部位、治療内容、予後などの臨床情報を取得し、PNIおよびPTPRD発現との関連を解析します。新たに患者から検体を採取することはありません。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2028年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および英文誌での論文掲載</p> <p>【利益相反の状況】 公開する利益相反はありません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>試料: 本研修では試料の使用はありません。</p> <p>情報: 電子カルテおよび病理レポートから以下の情報を取得します。 臨床学的因子（年齢、性別、発生部位、腫瘍径、腫瘍厚、分化度、血管・リンパ管侵襲の有無、腫瘍辺縁形態など） 病理学的因子（神経径、侵襲神経数、浸潤深度、腫瘍内外・全周性の浸潤形態） PTPRD発現スコア（免疫組織化学染色結果） 取得した情報は匿名化し、統計解析に用います。 他機関への情報提供はありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関	富山大学附属病院長 山本 善裕

及び施設責任者氏名	
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院・助教・松井悠
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7305 FAX 076-434-5028 E-mail yu4573@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院・助教・松井悠</p>